

現地見学会開催

国指定重要文化財

石城神社本殿

～令和の大改修～

伝統技法による

後世への継承が今……



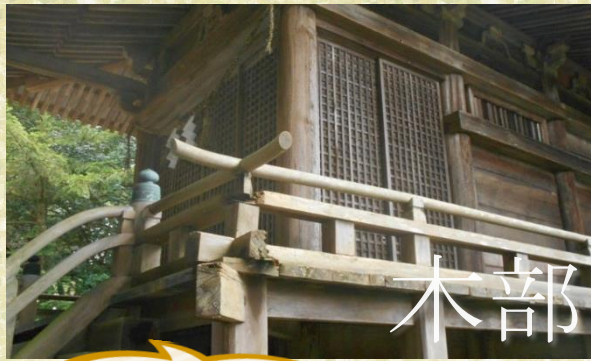
石城山(光市塩田)に鎮座する石城神社本殿は、市内唯一の国指定重要文化財建造物です。本殿は昭和59年の改修から約40年が経過し、屋根や木部などには腐食や欠損が見受けられます。現在、国・県・市の支援のもとで保存修理事業が実施されています。



保存修理事業の概要

事業主体	宗教法人石城神社
事業期間	令和3年(2021)11月から令和4年(2022)10月まで
事業内容	屋根の葺き替え、木部(壁や縁回り)の部分補修、宮殿(本殿内部に安置)の部分補修
設計監理	公益財団法人文化財建造物保存技術協会
施工	協和建設工業株式会社

改修の全容



木部

木部の腐食している
高欄(手すり)・床などを補修



屋根

屋根全体を
こけら葺き※で葺き替え



こけら葺きとは
3mmの薄い手割り板を
丁寧に竹釘で貼り重ねる手法

宮殿の
折損・欠損部の補修



宮殿

石城神社の概要

石城神社は平安時代の「延喜式」の神名帳に記録されている由緒ある神社です。創建年代は明らかではありませんが、社伝によると、敏達天皇3年(574)に鎮座し、現在の本殿は、室町時代の文明元年(1469)に守護大名の大内正弘によって再建されたと伝えられています。構造や装飾には当時の特色が残っていますが、中でも**葺股**※は秀作とされています。

明治40年(1907)に特別保護建造物、昭和4年(1929)に国宝、同25年に国の重要文化財(有形文化財建造物)の指定を受けました。この間、大正10年(1921)に解体修理、昭和26年・59年には屋根葺替修理が行われ、現在まで受け継がれています。



葺股とは

社寺の横木に置かれる部材で、カエルが座っているような形状のもの。

事前申込要

● 現地見学会 ●

8月20日(土)・21日(日)

● 完成報告会 ●

11月19日(土)・20日(日)

詳細は光市 HP をご確認ください。

※作業の進捗等により、
日程が変更となる可能性があります。
※見学会等の日以外は、見学することはできません。

交通アクセス

● 熊毛 IC から車で約25分

